

令和6年度 第3回大月みらい協議会 会議概要

日 時：令和6年8月21日（水）18時00分～19時40分

場 所：大月市立大月短期大学 L号館1階 会議室

出席委員：白川恵子、鈴木龍子、中島啓介、幡野笑子、竹下文仁、山口隆太郎
（敬称略）

事務局：小林市長、杉本課長、上條リーダー、石丸主事、福嶋主事補

1 開会（司会：杉本課長）

2 市長あいさつ（大月市長 小林信保）

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また、第1回の会議において、「短期間で集中して、密度の濃い話し合いをしたい。」というお話をいたしました。2か月の間に3回も開催していただき、本当にご協力ありがとうございます。

前回会議で皆様から出していただいたご意見を事務局にまとめていただきました。本日はそれをさらに整理する作業を、意見交換をしながら進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

3 議長あいさつ（中島啓介議長）

皆さんこんにちは。本日は第3期総合戦略の基本目標とその方向性について、皆様からご意見をいただきたいと思っております。議事（1）の進行は事務局にお任せいたします。よろしくお願いいたします。

4 議事

議事（1）第3期大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標と方向性について

（進行：中島啓介議長）

それでは、議事に入ります。まずは、「議事（1）第3期大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標と方向性について」です。事務局より説明をお願いします。

（事務局：上條リーダー）

まず、資料1をご覧ください。現在、皆様には第3期大月市総合戦略の基本目標を作成する作業を行っていただいております。前回、国が示している①地方にしごとをつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくるという4つの項目について皆様からご意見をいただきました。いただいたご意見は、資料1の左側「ブレスト取りまとめ内容」に記載しております。

次に、資料1の右側は皆様のご意見を事務局でさらにまとめたものとなります。例えば、「地方に仕事をつくる」という国の目標に対して、大月市では「地域で興し働けるまち」という目標を仮設定し、皆様からいただいた「地域の困りごとを知り仕事をつくる」や「eスポーツ」などのご意見を「農業・観光・第1次産業の振興」や「交通の便（地の利）を活かした産業の振興」など8つにまとめました。

ここで資料2をご覧ください。下段には、事務局案である基本目標とそれに対する方向性を記載しております。今回皆様には、基本目標の文言を修正していただく作業と、基本目標の方向性を2つないし4つにまとめていただく、もしくは削除する作業をしていただきます。

作業していただくにあたり、この基本目標および方向性に設定した理由を説明いたします。[雇用]の基本目標につきましては、前回、市長から「興す」というキーワードをいただいたとともに、皆様からも「今あるものを発展させる」、「新たに起業する」というお話があったことから「地域で興し働けるまち」と設定しました。また、基本目標の方向性を8つに絞り記載しております。

次に[人の流れ]の基本目標につきましては、関係人口や交流人口から大月ファンを増やすことが重要であるという考えと、前回、山口副議長から「入口も出口も広い移住施策」というご意見をいただいたことから、「ふらっと立ち寄りたくなるまち」に設定しました。この「ふらっと」という形容詞が相応しいのか否かについては、後ほど皆様からご意見をいただきたいと思っております。また、基本目標の方向性を8つにまとめました。

次に[結婚・出産・子育て]の基本目標につきましては、第2期総合戦略に入っていた「若い世代」という文言を削除し、「結婚・出産・子育てしやすいまち」に設定しました。これには年齢問わず大月を好きになって、大月に住んでいただきたいという思いがあります。また、基本目標の方向性を4つにまとめました。

最後に[暮らしやすいまちづくり]の基本目標につきましては、「住みたくなる魅力あるまち」に設定しました。特に、基本目標の方向性にある「大人が伝えるふるさと教育の推進」が重要であると考えております。大月に魅力があることを知ってもらうには、子どもたちの身近にいる大人が、大月は誇れる町まちであることを伝えていく必要があると思っております。これ含め基本目標の方向性を6つ掲げております。

以上を参考にしながら作業を進めていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

(杉本課長)

「ふらっと立ち寄りたくなるまち」の方向性にある「街並みが輝く事業の支援」は、個人の財産に関わることや膨大な経費が掛かることからハードルが高いと感じました。実現可能な具体的施策が想像できないため、削除して良いと思っております。

また、「結婚・出産・子育てしやすいまち」について、結婚や出産、子育てをしようと考えている人たちからすると、近隣と比べて大月は「しやすい」まちではない気がします。そう考えると「しやすい」という表現よりは「したくなる」の方が

良いと思います。皆様からも意見をいただきたいです。

(白川恵子委員)

子育て世代が移住しているまちの特徴として、「地域ぐるみで子育てをしている」ということが挙げられます。便利で何でも揃っていて「しやすい」まちよりは、そのような環境や人がいて「したくなる」まちであることが重要だと思います。

(鈴木龍子委員)

少しの違いで全然イメージも違いますし、言葉を変えることに賛成です。大月はひとり親でも戻って来やすいまちであることから、「したくなる」の方が合っていると思います。

(事務局：上條リーダー)

ご意見ありがとうございます。「結婚・出産・子育てしやすいまち」について、「しやすい」から「したくなる」に修正いたします。

[雇用]の基本目標である「地域で興し働けるまち」の表現についても意見をいただきたいです。

(白川恵子委員)

「地域で興す」という表現について、前回、市長が仰っていた「地域を興す」にした方が良いと思います。「地域で興し働ける」は、地域の中で誰かが主体となって興して働くという意味だと捉えましたが、それは市長が仰っていた言葉の意味と合っているのでしょうか。

(杉本課長)

確かに「地域で興し働ける」だとそのように捉えられてしまうと思います。「地域で興すこともできるし、働くこともできる」という意味合いにしたいため、句読点を入れるという案もありましたが、いかがでしょうか。

また、この文言には大月で活動している人や、大月市民ではないけれど大月のことを宣伝してくれている人を増やしたいという背景もあります。

(白川恵子委員)

関係人口を増やしたいという意味合いもあるのなら、「地域で興し、地域を興す」にした方が良いと思います。

(小信保林市長)

「地域を興す」という言葉を加えた方が、具体的施策を考えやすいと思います。例えば、人材確保や起業支援などが挙げられると思います。

(事務局：上條リーダー)

次回までに整理して、再度皆様にご意見をいただきたいと思います。

(山口隆太郎副議長)

結婚・出産・子育てはプライベートな話だと思いますので、この部分については、他の3つの目標にまとめてオブラートに包んだ方が良いと考えます。今のままだと、「ここで結婚して子どもをつくれ」という意味に感じます。

(杉本課長)

山梨県が掲げている「人口減少危機対策パッケージ」の中でも、未婚化・晩婚化対策が重要視されていることから、本市としても取り組まなければいけない重要項目であると認識しており、削除するのは難しいと考えております。

(白川恵子委員)

[結婚・出産・子育て]の項目が外せないのだとしたら、「ふらっと」のように強調する言葉を付け加えてイメージを柔らかくしても良いと思います。

(事務局：上條リーダー)

事務局の中でも強調する言葉を付ける案が出たのですが、なかなか良い言葉が見つかりませんでした。良い言葉があれば次回までにご提案いただければと存じます。

(中島啓介議長)

「ふらっと立ち寄りたくなるまち」を「また来たくなるまち」という表現にするのはどうでしょうか。

また、「ふらっと立ち寄りたくなるまち」の方向性の中に「特色ある人の流れを創出」とありますが、この「特色」とはどのようなことですか。

(事務局：上條リーダー)

コアな趣味をお持ちの方々や自分のライフスタイルを貫いているの方々、大月に強い思いを持っているの方々などをまとめて表す言葉として「特色」を使用しました。また、多様性という意味合いも含まれています。

(杉本課長)

それだと「特色ある人の流れを創出」という部分は、「交流人口や関係人口から大月ファンを創出」という部分と重複すると思いました。

また、「住みたくなる魅力あるまち」については、上記3つの目標に該当しない方向性をここに振り分けていることから抽象的な目標となっています。

(竹下文仁委員)

基本目標の中で優先順位を決めて、上から並べると良いと思いました。大月は全てに同じくらい力を注ぐよりも、何かに特化して取り組んでいく必要があると思いますし、それが大月の特色をつくることにもなると思います。また、こういうものは上から読んでいくと思いますので、優先順位が高いものを上に置く方ことで読む側にとって「大月はこれをやりたい」ということがわかりやすくなると思います。

(中島啓介議長)

市長の中で、基本目標に優先順位があれば教えていただきたいです。

(小林信保市長)

基本目標の中では[雇用]を優先的に取り組みたいと考えています。

(竹下文仁委員)

基本目標とそれぞれの方向性において1個ずつ最も大事なものを設定していただくと良いと思います。

(幡野笑子委員)

「～まち」というのは必ず付けないといけないのでしょうか。

(事務局：上條リーダー)

総合戦略は総合計画をベースに作成しており、総合計画の8つの政策取組方針が「～まち」となっているため、現状同じ言葉でまとめていますが、必ずしも「まち」でまとめなければいけないというわけでは無いです。

本日は、ここまでとさせていただきます。来週の会議までに一通り目を通していただき、意見を発表していただければ幸いです。

議事（2）その他

(進行：中島啓介議長)

続きまして、「議事（2）その他」についてです。

前回の会議にて、「大月仕事人」の推薦をしていただきたいというお話がありました。推薦していただける方は挙手をお願いします。

(幡野笑子委員)

カーリレイションZEROのコタカレイジさんを推薦します。45歳前後の方で、奈良子で車の修理や修繕を行っています。取材の許可ももらってあります。

(中島啓介議長)

くらぎきのスズキヒサヤさんを推薦します。51歳くらいの方で、葛野でうどん屋さんを10年以上経営しています。取材の許可は得ています。

あと1枠については、来週再度推薦いただければと思います。

5 閉会